

能美市地域福祉活動計画第4回アクションプラン推進協議会

1.開催日時：平成21年1月16日(金) 午後1時30分～

2.開催場所：辰口健康福祉センター 大ホール

3.出席者(敬称略)

高塚亮三(福祉施設等)・宮田明(市自治公民会協議会)

…地域福祉人づくり委員会

今川清知(一般公募)・西邦昭(市町会長連合会)・西出紀代美(市婦人団体協議会)

…地域福祉ネットワークづくり委員会

喜多泉(子育てに関わる団体)・近藤沙夜里(一般公募)

…地域福祉支えあいのしくみづくり委員会

西川方敏(市ボランティア連絡協議会)・田中策次郎(一般公募)

…私たちのボランティアセンターづくり委員会

佐々木真知子…(評価委員会委員長)・荒井昌宏…(評価委員会副委員長)

宮本長興・吉田健造・新川葉子・海道伸子・南敦子・南野和美・仁地美代・新田亜希子・森田友貴(社会福祉協議会)

4.会議次第

1. 開会の挨拶

2. 各アクションプラン委員会からの報告

3. 評価の方法について

4. 今後の予定

1) 第1回地域福祉フォーラム(案)について…(資料1)

2) 能美市地域福祉活動計画推進と能美市社会福祉協議会理事評議員会
これからの流れについて…(資料2)

3) その他

5. その他、次回開催日時

6. 閉会の挨拶

1. 開催の挨拶

高塚委員長：地域福祉活動の「質」が、大変、重要になってくる。1年目の取組みも徐々にまともに入っていかなければならない。

2. 各アクションプラン委員会からの報告

地域福祉支えあいのしくみづくり委員会

ファミリー・サポート・センターの11月までの活動状況の確認。

双子や三つ子のいる家庭、父子家庭等からの支援の依頼があるなど、その存在についていろいろなところに広がり、周知されつつあることを確認。

いろいろなケースに対応するために、今後、アドバイザー＋「運営委員会」の形を検討。

子育て支援の必要性を地域に伝え、意識を広げていくことを更にすすめる。

地域福祉フォーラムでの報告でも、地域の皆さんに「いかに伝えるか」を工夫してみたい。

わたしたちのボランティアセンターづくり委員会

2ヶ月に1回の開催から、毎月1回、第3水曜日に寺井地区公民館で開催している。

どのようなボランティアがあるのかがわかるような一覧表について、(案)を出し、協議・評価をしている。

地域福祉人づくり委員会

アクションプラン推進協議会の第3回目から4回目の開催の間に3回、開催した。

共通理解を得るため、人づくり委員会の構成団体の活動紹介シート一覧を作成した。

ふれあい共生事業における人づくり委員会構成団体の役割、足りない部分をどんな団体に応援していただくのか、また、「ふれあいの事業」とは何か、その目的や内容などについてなどの協議をしている。

「ふれあい共生事業」という名称を、評価を行う際には「ふれあい福祉事業」という名称に統一することにした。

地域福祉ネットワークづくり委員会

現在、60の福祉委員会から設置の届け出がある。その中で16ヶ所が地区委員会である。

規約のない地域福祉委員会は、これから整理していくとよい。

ネットワークづくり委員会の会合もこれからは、毎月、開催することになった。

今晚、モデル地区地域福祉委員会の第2回の打ち合わせ会があり、ネットワークづくり委員会の会合もあわせて行うこととしている。

地域福祉フォーラムの報告内容は、現段階では、「地域の絆の輪を広めよう」というようなものを考えている。

「地域の絆」という言葉の中に、「助け合い・支え合い」の意味も含まれている。

地域福祉委員会では、1年に1回くらいは、何らかの会合や避難訓練などをやっていかなければならないと思っている。

3. 評価の方法について

委員から提出された記入済みの評価シートを参考にして評価の内容を協議。

目標数字や達成数字に加え、取組みの経過がわかることが大切、評価のためのシートもソフトな感じがよい。

数値を挙げることだけでは評価できない部分をコメントで表したらどうか。

数字ではなく、気持ちや思いを大切に評価する。

取り組みが、住民に理解され伝わっているのかを第三者的に評価する項目も必要。

各AP委員会の重点の取り組みが異なるので、4つのAP委員会の評価を同じ様式であらわすことは難しい。

以下の項目で、各AP委員会ごとに自己評価作成していくことでどうか。

- * 「目標は何か」がわかる。
- * 「どこまで達成できたのか」がわかる。
- * 「今後の課題は何か」がわかる。
- * 「情報提供はどれだけできたのか」がわかる。
- * その他、数字で表せない「気持ちや思い」の部分をコメントで表現する。

4. 今後の予定について

1) 第1回地域福祉フォーラム(案)について

ミニコンサートなどのリラックスタイムは必要か。それは、何が目的か。

今まで地域福祉に関心のなかった人に対するきっかけづくり。新しい顔ぶれの参加者を呼

び込みたい。中学生や高校生、あるいは保育園児などが参加するような時間があれば、参加者も増えるのではないか。

参加人数ではなく、参加してどれだけ理解がすすんだかが大切。主旨がわからないのに、ただ参加するだけでは意味がないように思う。小中学生の参加を期待するのなら、はじめから説明をした上で、参加をしてもらうことが必要。

参加者のお土産という意味で、グッズ等の展示はどうか。

初年度の地域福祉フォーラム参加者のターゲットはどこか。

今年は、地域福祉活動計画の初年度としての報告の機会である。

地域福祉フォーラムで発信するメッセージをサブタイトルであらわしたらどうか。

<p>* 能美市が変わりはじめている * 知らないと損するよ * 知って得するよ * これは私の問題やよ * 私がかかわっていることやよ * 私達の地域の人がやっていることやよ * 私たちの熱い思い、元気な活動をわかって！</p>

福祉の大会にいつも参加している人たちでも、自分がかかわっていること以外は知らない場合が多い。

今年度、設立された地域福祉委員会のメンバーは、メンバーになってはいるけれど、地域の中にどんな活動があるか、知らない人が多い。このあたりが、新しい参加者の顔ぶれになるのでは。

いつも参加する顔ぶれは、地域の中の核となっている人たちである。その核となる人たちに地域福祉について確実に理解してもらうことが重要。そして、核の人たちが自分の地域に持って帰って広げてもらうようになればよい。

地域福祉活動で大切なことは、いかに周囲を巻き込んでいくかということ。まずは、地域の中に核となる人をつくっていき、それに平行して、福祉に関心のある人を増やしていく。

以上の協議内容を踏まえて、もう一度、事務局が整理し、次回会議で決定する。

2) 能美市地域福祉活動計画推進と能美市社会福祉協議会理事評議委員会これからの流れについて(資料 2)

・事務局より資料 2 について説明・確認

3) その他

各委員会からの活動状況について、口頭だけの報告だけでは、各 A P 委員会の流れが見えない。簡単にまとめた資料があればよい。事務局で整理する。

5. 次回開催日時

2月9日(月) 午後1時30分～ 辰口健康福祉センター
評価内容および第1回地域福祉フォーラム内容について

6. 閉会の挨拶

西川副委員長：これからは、4つの各アクションプラン委員会同士の横の連携が益々必要になってくると思う。また、支えあいのしくみづくり委員会からも報告されていたが、「運営委員会」について、どのような形でやっていくのかということもこれからの課題であると思う。さらに協議を進めていきたい。